

2025 年 10 月 28 日

各 位

会社名 日本ナレッジ株式会社

代表者 代表取締役社長 藤井 洋一

AI ガバナンスと AI 利活用を推進するコンサルティングサービス開始
－AI リスク管理および AI システム影響評価を踏まえ
整合性の取れた AI マネジメントシステムから
ISO42001(AIMS)認証取得までの
ワンストップサービスによる攻めの AI 活用をご支援－



AI ガバナンスと AI 利活用を推進する
コンサルティングサービス開始

日本ナレッジ株式会社（本社：東京都台東区寿、代表取締役社長：藤井 洋一、以下日本ナレッジ）は、企業の AI 利用のリスク軽減と利活用を推進するコンサルティングサービスを開始することをお知らせいたします。

本サービスは、BSI 社の AIMS 審査員資格 (BSI ISO/IEC 42001 Lead Auditor Practitioner) と ISO9001 認証審査員資格を持つ同部門の有識者による深い知見を活かし、単純に AI 利活用の推進を実現するためでなく、AIMS と QMS の統合を実現する支援サービスとなっています。

本サービスの提供により、AI 利用のリスク管理およびガバナンスで統制を実現するだけでなく、AI 活用によるシステム開発での高い生産性と品質リスクの軽減の仕組みの構築と人材育成を実現します。

■ 背景

すでに多くの企業で生成 AI を始め、AI を活用したシステム開発が進んでおります。しかし、AI 活用に関するガバナンスやセキュリティを考慮しなければ、シャドーAI と呼ばれる企業が正式に承認・管理していない AI ツールの利用によるコンプライアンス違反、セキュリティリスクといった重大な問題を引き起こす可能性が生じます。

AI システムを安全・安心に利活用するためには、リスクベースアプローチ等を通じて、AI システムを適切に開発・提供・使用することが必要です。すでに AI マネジメントシステム (AIMS:ISO/IEC 42001) と呼ばれる国際規格が発行されており、AI 利用に関するリスクを回避するための要件やリスクが生じた場合の対応を含む信頼性の高いマネジメントシステムが構築可能で、企業内のより安全・安心な AI システムの普及拡大への貢献を実現します。

AIMS は ISO 9001 品質マネジメントシステム (QMS) 規格や ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメント (ISMS) 規格など既存のマネジメントシステム規格と同様のアプローチを採用し、同じ構成で要求事項を規定するなど、AIMS の利用者を考慮した規格になっています。

ISO42001「AIMS認証」取得支援



■ AIは「試す」時代から「事業/製品/サービスに組み込む」時代へ

国際規格「ISO/IEC 42001」：AIの開発/提供/利用に関わる世界共通の「ルールブック」

ISO 42001認証審査員資格を取得した当社専門家による、AIマネジメント作成を支援

※審査員とは：会社または組織がそのルールブック通りにAIを利用・運用しているかを、外部の公平な立場からチェックする専門家
2025年8月現在：国内約20名程度

AIMS取得のメリット

- ① **AIの「課題」の見える化**
内部の課題（開発ルール、担当者の責任）と外部の課題（法律/倫理/社会への影響等）の見える化
AIの「偏り（バイアス）」や「性能劣化」等、潜在リスクを定期的に点検する仕組みにより事故を未然に防ぐ
- ② **企業価値向上**
AIMSは、AIに必要な3つの要素を確保する仕組み
透明性：AIが出した回答を、説明できること
再現性：同じ条件なら、同じ結果を出せること
公平性：特定の人やグループをえこひいきしないこと

③ 今後の制度・ルール変化への対応

これからますます増えるAI関連の法律やルールに対応

審査員資格を取得した専門家活用のメリット

- ① **「審査員の目」で準備を最短で実行可能**
「どんな記録や手書きが必要か」を審査員の視点で先回りしてアドバイス。
手戻りを減らし、最短での認証取得をサポート。
- ② **本番前の「模擬審査」で弱点を克服**
内部監査を強化し、本番さながらのチェックで弱点を事前に発見・改善。コストを抑え、合格の確度UPを実現。
- ③ **外部審査機関とのスムーズな「橋渡し役」**
審査員が何を知りたいかを理解しているため、外部審査のやり取りがスムーズに進み、追加の質問や資料提出を最小限に抑えられる。

Copyright © Nihon Knowledge Co., Ltd. All rights reserved.

9

■ 当社コンサルティングサービスについて

当社コンサルティングサービス部門は、ソフトウェア品質の国際規格（ISO/IEC 25000 シリーズ）の規格策定を行っている ISO/IEC/JTC1/SC7/WG6 所属エキスパートであり、工学（博士）であるエグゼクティブコンサルタントの加藤大受を筆頭に、お客様の品質課題およびセキュリティ課題などの解決をサポートする様々な支援サービスを提供する部門となっています。また、ISO 9001 (QMS) 認証および ISO 27001 (ISMS) 認証の審査員資格を持つメンバーを要し、マネジメントシステムを熟知し、生産性と安全性に優れた攻めの経営を実現する支援を実施しております。

他にも同サービス部門では、ソフトウェア製品/SaaS ベンダー向けに、開発プロセスの品質改善や品質向上サービス、QMS 構築/改善支援、米国政府機関のセキュリティ基準である NIST SP800-171 準拠サービスなども提供しております。

<当社コンサルティングサービス>

<https://www.know-net.co.jp/consultationserviceinfo/>

コンサルティングメニュー概要



お客様の課題解決のため、様々なご支援を行っております。



Copyright © Nihon Knowledge Co., Ltd. All rights reserved.

■ 今後の展望

今回発表のコンサルティングサービスは、現在開発中であり本年4月に発表した、独自探索的テスト手法「FaRSeT-#」も自動実行可能な、AIを活用した独自のテスト自動化ツールを活用予定です。この活用により、テスト作業の生産性向上も期待可能なサービスとなっております。

今後とも当社では、AI活用を推進するサービスを提供してだけでなく、コンサルティングサービス部門での様々な支援サービスと当社の持つ開発および検証サービスを合わせ、トータルソリューションのシナジーを活かしたサービスを提供します。

■ 当社業績への影響

本件による業績に与える影響は軽微であります。今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

【日本ナレッジ株式会社について】

日本ナレッジ株式会社は、「人と技術を育み、安心できるデジタル社会の未来を支える」というミッションのもと、ソフトウェア検証・品質保証やテスト自動化を中心に、AI・セキュリティ開発、教育・研修サービスを展開しています。

お客様の“長期的パートナー”として、品質と信頼を基盤に安心と成功を届けるとともに、人的資本経営を軸にエンジニア育成や多様な働き方を推進し、持続可能な成長と社会への貢献を目指しています。

<会社概要>

会社名：日本ナレッジ株式会社

本社：東京都台東区寿 3-19-5 J S ビル 9 階

代表者：代表取締役社長 藤井 洋一

URL：<https://www.know-net.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

企業名：日本ナレッジ株式会社

問い合わせ先：事業統括本部

メール：support@know-net.co.jp

TEL：03-3845-4781（平日：9:00-17:30）

お問い合わせ：<https://www.know-net.co.jp/contacts>